

オンラインライブ中継による東京・名古屋・大阪同時開催

健全な企業倫理と組織風土でモチベーションを高め、成長を目指す

効率的・実効的なコンプライアンス・ 内部統制・監査体制改善の着眼点

主催：(社)企業研究会 / 協力：TAC(株)

《開催要領》

東京会場

- 日 時● 2014年11月12日(水)
13:00~17:00
- 会 場● 企業研究会セミナールーム
(東京: 麹町5丁目)

名古屋会場

- 日 時● 2014年11月12日(水)
13:00~17:00
- 会 場● TAC名古屋校
(名古屋: 名鉄バスターミナルビル9F)

大阪会場

- 日 時● 2014年11月12日(水)
13:00~17:00
- 会 場● TAC梅田校
(大阪: 梅田センタービル5F)

《オンラインLIVE》 セミナーとは

当セミナーは、講師が来場する東京会場をメイン会場として、その模様を名古屋会場・大阪会場に中継致します(名古屋会場・大阪会場への講師の来場はありません)。中継については、TV製作会社である(株)東通が担当し、双方向コミュニケーションにより、名古屋会場・大阪会場からの質疑応答も可能です。
(裏面のご案内もご覧ください)

講 師

東京国際コンサルティング(株) 代表取締役 青木茂幸氏
(一般社団法人コンプライアンス推進機構 代表理事)



講師紹介

これまでに 350 社を超える事業法人、金融機関、官公庁などのお客様に経営管理・コンプライアンス態勢整備、内部統制構築支援、内部監査支援、規制対応等の各種サービスを提供。公認不正検査士。公認リスク管理監査人(IIA)。日本内部監査協会金融内部監査士試験委員を歴任。東京大学法学部卒後、三菱信託銀行(株)、経済官庁等を経て現職。一般社団法人コンプライアンス推進機構代表理事を兼務。企業内研修をはじめ、東京証券取引所、日本証券業協会、第二地方銀行協会、日本損害保険協会、不動産証券化協会等での講演多数。

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

■受講料: 1名(税込・資料代含)

(申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。)

↓希望会場に「○」をご記入下さい。 FAX:03-5215-0951

正会員	32,400円(本体価格 30,000円)
一般	35,640円(本体価格 33,000円)

■参加要領

申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからお申込み頂けます。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
※よくあるご質問(FAQ)は当会ホームページにてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])
※お申込後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願いいたします。
※最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

■お申し込み・お問い合わせ先

一般社団法人企業研究会 公開セミナー事業グループ
担当/川守田 E-mail: kawamorita@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951
〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31MTビル 2F

東京会場:141201-0303		2014.11.12 実効性と効率性なコンプライアンス	
名古屋会場:141320-0303		2014.11.12 実効性と効率性なコンプライアンス	
大阪会場:141321-0303		2014.11.12 実効性と効率性なコンプライアンス	
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 役 職		
E-mail			
ふりがな ご氏名	所 属 役 職		
E-mail			

13:00

■開催にあたって■

消費者・社会の要請や法律改正により、多くの企業でコンプライアンス、内部統制、内部監査等の体制整備が進められてきました。しかし、本来の目的の誤解から、組織や手続などの形づくりが優先され、経営者のみならず第一線の職員にもネガティブな姿勢が根強く残っています。さらに、過剰な手続により、効率的な業務運営を阻害している状況も見受けられます。

そこで、コンプライアンス・内部統制システムの現状と課題を正確におさえつつ、顧客・社会からの信頼確保、職員のモチベーションアップ、企業の長期的成長に資する、効率的で実効的なコンプライアンス(企業倫理マネジメント)、内部統制、内部監査の仕組み、現場での浸透策、教育・推進活動のポイント等を、実務的な視点で解説を行います。

■プログラム■

1. わが国企業のコンプライアンス、内部統制・監査体制の課題
 - (1) 内部統制・監査やコンプライアンス態勢の根本的な課題
 - ・コンプライアンスや内部統制の目的、実益の理解
 - ・統括部署と推進活動(システム化、推進機能)の脆弱性
 - ・業務の現場における理解と実践
 - (2) 本質的なコンプライアンスのマネジメントプロセス
 - ・本来、コンプライアンス重視の経営の意義は本来どこにあるか？
 - ・経営手法として倫理マネジメントが有効な理由とは？
 - (3) 内部統制・監査、コンプライアンス態勢における「効率性」の意義
 - ・統制目的上、「効率性」が極めて重要な理由とは？
2. 効率性と実効性の両立を目指す企業倫理マネジメントプロセス
 - (1) 基本理念・倫理的価値観を浸透させる取組(実益、動機付け)
 - (2) 組織体制を機能させるための着眼点
 - ・経営陣、統括部署、オフィサーの役割は何か？
 - ・マネジメントを巻き込み、推進する有効手法とは？
 - ・関係部署との連携(顧客対応、苦情相談、CSR等)をどうとるか？
 - (3) 倫理重視のコンプライアンスを実践させる仕組み
 - ・方針、規程・規則、マニュアルの整備と簡素化とは？
 - ・教育・研修システムの見直し(内容、頻度、名称等)
 - ・業務活動とシステムの組み込みとは？
 - 職場主体の推進活動(管理職・職員相互の助言・協力等)
 - 相互確認・職責分離の仕組みづくり
 - ・部署や人事評価を含む全社的な制度設計とは？
 - (4) 内部監査機能の再確認と有効活用
 - ・企業全体や業務プロセスのリスク評価機能を果たしているか？
 - ・ルールチェックから統制環境の検証・評価へ
 - ・内部監査を経営陣に浸透させるポイントと手法
 - ・有効性と効率性を検証できる社内での唯一の機能

≡ ご案内 ≡

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。
※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

※セミナー中、映像及び音声のトラブルがあった場合は、下記の通り対応をさせていただきますので、ご了承の上、お申度をいただけるようお願い申し上げます。

■映像など切断した場合、再接続してから講義を再開致します。

■接続が回復できない場合、もしくは音声途切れるなど配信品質が著しく低下した場合、受講料を返金させていただきます。

17:00